

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	「現代アートを楽しむ場づくり」
28年度募集テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』 ※該当テーマに <input checked="" type="checkbox"/> してください。
テーマとの関連	<p>◎テーマをどのように受け止め、貴団体の取組と合致すると考えたのかをお書きください。</p> <p>「現代アートは分からない、どう見たらいいの？」とはよく聞く言葉だ。岡山で初めて開かれる「岡山芸術交流 2016」において、一般には垣根が高いと言われる現代アートを鑑賞支援する活動を行った。パブリックプログラム「小学校鑑賞支援」では、来場した小学校を対象に『笑顔』で楽しく作品に関わることができて、「現代アート」って楽しい、みんなで対話しながら、よく見て考える鑑賞が楽しいという体験をしてもらうこと、また一般鑑賞者を対象にした「オープン鑑賞会」では、作品の周りを囲んで皆でいろいろと対話することで、一人では味わえない鑑賞を楽しむことができる体験をするとともに、旧内山下小学校から出発する「てくてくアート」ツアーでは、鑑賞自体はもとより、城下、旧後楽館跡、出石地区の屋外作品を次々と巡ることで、その地域の魅力を再発見する体験にもなり、屋外という開放感ある空間で対話しながら移動していくことで参加者同士が短時間でも打ち解けることのできる『場づくり』を目指した。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについて記載してください。</p> <p><取組の目的・社会課題>瀬戸内国際芸術祭が盛り上がりを見せている中、一般には「現代アート」は未だに「分からない」「どう見たらいいの？」と、戸惑いを見せる方が多いと思われる。私たちが取り組んでいる“対話型鑑賞法”を紹介し、複数の鑑賞者で対話しながら鑑賞することで、自分の見方だけでなく他の人の見方・感じ方を知ることで更に考えを深める「対話」の面白さに気付いたり、あらためて「アート鑑賞」の面白さに気付いてもらう。また、その過程で人と人のコミュニケーションが促されることから、人と人の新たな交流ができたり、アートが置かれている環境を見直すことから、地域と人の新たな関係も構築できる。</p> <p><解決後の姿（目標としている状況）>自分の目でよく見て考えながら「アート鑑賞」を楽しむことができる。また“対話”を用いることで、他の意見を聞き、自分の意見と合わせてさらに考えを深める、という豊かなコミュニケーションを獲得することで、「アートと鑑賞者」のみならず「人と人」、「人と地域」をより近づけることができる。</p>
取組の内容	<p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等 地 域：岡山芸術交流 2016 作品展示会場（岡山市丸の内、磨屋町、出石町） 対象者：岡山県下小学校 10 校、一般来場者向け鑑賞ツアー申込者 対象人数：小学生 326 人、一般参加者 23 人(全3回)</p> <p>2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等 参加団体：岡山芸術交流 2016 実行委員会 特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA</p> <p>3 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。</p> <p><小学校鑑賞支援 全10校> 旧後楽館校跡会場において、来場した小学校の生徒を対象に、内部の作品群を巡り、対話を用いて鑑賞支援する。事前には引率教員向け研修としての鑑賞会を実施し、先生方に対して対話型での現代アートの鑑賞についてのご理解をいただくことに努めた。 ウエルカムガイダンス → アートゲーム → グループ（8～10人）に分かれ作品鑑賞する。 (最短45分～最長120分)。 対象小学校（全10校）：岡山市立興除、福渡、桃丘、馬屋下、角山、総社市立神在、 勝央町立勝間田小、笠岡市立白石、倉敷市立南浦、赤磐市立城南、</p> <p><一般向け「みる★対話」鑑賞会 3回> 旧後楽館校跡会場において、事前に申込をした方を対象に、会場にある作品3点を巡りながら、対話を用いて鑑賞する。 ウエルカムガイダンス → アートゲーム → 皆で作品3点を巡りながら、対話を用いた鑑賞支援をする。</p>

	<p>所用時間—90分</p> <p><ハイコーチャレンジ!!「てくてくアート」ツアー> 「文化祭」開催日に、旧内山下小学校から出発し、岡山芸術交流2016の屋外作品3ヶ所を巡りながら、対話を用いて鑑賞支援する。 ウエルカムガイダンス(旧内山下小学校内) → ほぐしの対話 → 城下会場 → 旧後楽館跡会場 → 出石会場の3ヶ所を巡りながら、対話を用いた鑑賞ツアーを開催する。 所用時間—約90分</p> <p>4 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。 https://www.facebook.com/mirunaviokayama/</p>
<p>協働の体制</p>	<p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など、具体的に記載してください。</p> <p><岡山芸術交流実行委員会> 今回の芸術祭開催では本格的な現代アートの展示が行われ、小学校も観覧すると聞き、鑑賞支援が出来ることを伝えた。具体的には、私たちの活動の内容を実感してもらうため、定例の鑑賞会に担当者をお誘いし、実際の鑑賞支援を体験してもらう機会を何回か設けた。その結果、私たちの手法が知識を提供するものではなく、皆と一緒に見て考えることをベースにしていることを共有でき、この手法が現代アートへの鑑賞の導入に、また教育分野に適切と判断していただいた結果、今回の協働に繋がったと思われる。</p> <p>芸術交流開幕前には、現場スタッフの方(約60名)に対しても、事前研修の一環として対話型鑑賞を体験する場を設けていただいた。</p> <p>学校側との交渉・一般向け鑑賞ツアーの受付等は事務局にお願いし、実施までは綿密な連絡をいただいた。小学校の引率先生方に対して、事前研修としての鑑賞会の告知・勧誘もしていただき、対話型に対しての十分な理解をしていただくことができた。</p> <p>小学校・一般向け鑑賞ツアー当日も、すべての鑑賞会に実行委員会からのスタッフが帯同してもらい、実施面・安全面等についてのサポートをお願いした。来所予定10校全部の活動が無事に終わり、これも事務局の協力があつたからこそと感謝している。</p> <p>うれしいことに、回を重ねるごとに事務局側スタッフの方々の理解が深まった結果、「自分たちでも見よう見まねで(鑑賞支援希望のなかった)小学生を案内しました」とお聞きし、生徒たちの反応や一般参加者の反応を見て、私たちの活動を評価していただいた結果と、大変うれしく思っている。</p> <p><特定非営利法人 ENNOVA OKAYAMA> 旧内山下小学校での「ハイコーチャレンジ!! 内山下コモンゲエト」において、芸術交流2016の連携企画として鑑賞ツアー「てくてくアート」を開催。それに向けての会議・研修等に教室スペースを定期的に、無償でお借りできた。パンフレットにも掲載され、広報していただいた。</p> <p>今回、協働関係ができたのも、旧内山下小学校から出発して芸術交流の屋外作品を何箇所か巡ることで、地域を再発見し、地域と旧内山下小学校を新たに結ぶ活動と評価いただけたものとする。</p>
<p>取組の工夫</p> <p>取組の特徴</p>	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点を記載してください。</p> <p>芸術交流2016では、城下を中心に、出石町から県庁にかけての地区に作品が設置してあることから、旧内山下小学校がまさにその中心にあり、歴史・文化の香りのする地区を歩くことで、新たなこの地区の魅力を発見することもできた。</p> <p>町歩きとして、とてもコンパクトにいろいろな場所を見て回れる地区でもある。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントを記載してください。</p> <p>「対話型鑑賞法」という鑑賞方法は「対話、を用いた鑑賞方法であることから、コミュニケーションが促される。これは物と人との間で、人と人との間でも大変有効に働くため、アートと人をより近づけるだけではなく、人と人、人と地域をより近く結ぶという効果を自然に促す。</p> <p>今回の協働でその認識の共有ができたところがあるため、この「人」の連携が必ず次の活動につながると思っている。</p>

<p>成果・効果</p>	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを記載してください。</p> <p><小学校鑑賞支援・「みる✕対話」鑑賞ツアー> 普段、目にしない「現代アート」を楽しく体験してもらうことが出来たと思う。また、なかなか美術館に来られない、遠隔地にある小規模校にも体験してもらうことが出来た。 今回、スタッフの方への鑑賞会も開催していただき、スタッフの方にも広くこの鑑賞法を知ってもらうことが出来た。この人的交流を次につなげる活動にする（ESD?）ことも、今回の機会をいただいた成果にしたいと考えている。</p> <p><ハイコーチャレンジ!!「てくてくアート」> 地域を巡りながら現代アートをみる今回のツアーは、私たち自身も大変楽しいと感じられた。現代アートに限らず、建築や街角彫刻など、街歩きをするツアーはいろいろ考えられる。参加者が、街を歩くことで新たな自分たちの街の魅力を再発見できるきっかけにもなるのではないか、と期待している。</p>
<p>今後の活動展開 など展望</p>	<p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望について記載してください。</p> <p>今回、いろいろな媒体（新聞・ラジオ等）に取材していただいたことで、美術館だけで活動していた時に比べ、活動の認知度が大きく広がったと思われる。</p> <p>また、鑑賞者のみならず、小学校の先生方、事務局や一般のスタッフの方々に対話型鑑賞法を知って理解いただいたこと、NPOの方々との人的交流があったことが必ず次の活動につながると思っている。</p> <p>具体的には、今回の芸術交流2016の屋外作品4点は2017年3月まで残されるとのことから、新たな街歩きツアーが出来ないかと企画中。</p> <p>ツアー内容もアートだけでなく、地域にある建築・モニュメントなどでも企画することができ、新たな街の魅力を発見することに繋げることができるかもしれない。また、開放感ある屋外を歩きながら対話することで、参加者どうしの一体感が短時間でできることから、「婚活」などに応用もできるかもしれないと夢がふくらんでいる。</p>

岡山芸術交流2016 パブリックプログラム 岡山の人・場・文化を開き、発信する

「岡山芸術交流」が地域に開かれ、根ざし、持続・発展していくための“人や場所の発掘と関係性の構築”、“文化資産の活用と発信”を目的としています。今回は、その第一歩として“関係性の糸口を開発すること”をめざし、トークイベントの開催や各種企画を行っています。

【申込方法】 件名に各イベントの日付・タイトルを明記の上、メールアドレスpp@okayamaartsummit.jpに、下記必要事項をご記入の上、お申し込みください。

1.氏名 2.連絡先(メールアドレス) 3.申込人数

※問い合わせ先、申込先が異なる場合がございます、各イベントをご確認ください
詳細はパブリックプログラムFacebook、岡山芸術交流2016ウェブサイトでご確認ください

【お問合せ】 岡山芸術交流実行委員会事務局(担当:赤坂・中澤)
〒700-0814 岡山県岡山市北区天神町9-24
TEL 086-221-0033 FAX 086-221-0031
MAIL pp@okayamaartsummit.jp



岡山芸術交流2016 開発/Development 開催中!
期間 2016年10月9日(日)-11月27日(日) www.okayamaartsummit.jp

シンポジウム

芸術祭の隆盛と地域課題

日程 11月13日(日)
時間 15:00-17:00
場所 CCCSCD
ゲスト 南條史生
(森美術館館長、
茨城県北芸術祭総合ディレクター)
秋元雄史
(東京芸術大学美術館教授、
金沢21世紀美術館館長)
那須太郎
(岡山芸術交流総合ディレクター)
定員 50名(事前申込優先)
参加費 無料、但しワンドリンク制

世界遺産を日本で支えた 建築家前川國男・ 岡山に近代建築を創る ~前川國男とル・コルビュジェ~

日程 11月13日(日)
場所・時間
岡山県庁、
天神山文化プラザ
(見学会13:00-15:30)
定員 30名(要事前申込)
岡山市オリент美術館
地下講堂(講演会15:30-17:00)
定員 80名
講演会講師
松隈洋(京都工芸繊維大学)
参加費 無料

【申込方法・お問合せ】
見学会参加は氏名・
連絡先・メールアドレスを明記の上、
下記FAXまたはメールアドレスで
石田宛に申し込みください
(公財)岡山市スポーツ・
文化振興財団(石田)
TEL 086-232-7811
FAX 086-234-1205
MAIL n-ishida@okayama-sc.jp

アーティストトーク

鬼が見た岡山

日程 10月29日(土)
時間 13:00-15:00
場所 古本喫茶 一刻堂
ゲスト 荒木悠(映像作家)
※岡山芸術交流2016出展作家
片山康之
(美術家・吹上美術館監督)
定員 30名(事前申込優先)
参加費 無料、但しワンドリンク制

転用!?

日程 11月5日(土)
時間 14:00-16:00
場所 牽連町4丁目ラウンジ・カド1階
ゲスト 下道基行(美術家・写真家)
※岡山芸術交流2016出展作家
三宅航太郎(うかぶLCC共同代表)
定員 30名(事前申込優先)
参加費 無料、但しワンドリンク制

アートは桃太郎なのか鬼なのか

日程 11月14日(月)
時間 19:00-21:00
場所 禁酒会館2階集会場
ゲスト 眞島竜男(現代美術作家)
※岡山芸術交流2016出展作家
岸井大輔(劇作家)
黒瀬陽平(美術家・美術批評家)
定員 30名(事前申込優先)
参加費 無料

岡山芸術交流

オルタナティブマップ



眼(美術館エリア) 鼻(西川エリア) 口(牽連町エリア)

ワークショップ

ローレンス・ウィナー ワークショップ

日程 11月19日(土)
※対象は小学生、中学生とその保護者
時間 14:00-17:00(三部構成)
場所 西川アゴラ
荒木勝
(岡山大学 副学長)
定員 親子1組(親子1組)
参加費 無料
【申込方法・お問合せ】 名前、希望の
(大人:何名 子供:何名)を明記の上
MAIL wadafumito@gmail.com
(倉敷芸術科学大学技術補佐員
和田文都)までお申し込みください

哲学カフェ

テツドク!(哲読)

日程 11月15日(火)
時間 19:30-21:30
場所 café moyau
ファシリテーター
松川絵里(「カフェフィロ」副代表)
定員 15名(事前申込優先)
参加費 無料、但しワンドリンク制

オープン鑑賞会

「みるx対話」鑑賞会

日程 ①11月5日(土) ②11月9日(水)
③11月23日(祝・水)
時間 10:00-11:30
定員 20名(事前申込優先)
会場 旧後楽館天神校舎跡地
ナビゲーター みるを楽しむ!アートナビ岡山
参加費 無料
※別途、会場未入場の鑑賞券が必要

「てくてくアート」 (連携企画) ハイコーチャレンジ!! 「内山下コモンゲエト」イベント企画

日程 11月20日(日)
時間 14:00-16:00頃
集合場所 旧内山下小学校
定員 20名 ※当日先着順
(13:30受付開始予定)
参加費 無料
主催 みるを楽しむ!アートナビ岡山、
NPO法人ENNOVA OKAYAMA

【お問合せ】
「みるを楽しむ!アートナビ岡山」
MAIL
mirunaviokayama@gmail.com
詳しくは「みるを楽しむ!アートナビ
岡山」のFacebookをご覧ください

クロージングイベント 開催予定!

詳細は決まり次第パブリックプログラムFacebook 及び岡山芸術交流2016ウェブサイトにてお知らせします。 Facebook www.facebook.com/oas.publicprogram

「岡山芸術交流オルタナティブマップ」は市内を回遊しながら岡山の魅力を“発見・探求・伝播”していただくために、街に点在する多種多様な見所を独自の視点で編集したMAPです。見どころの紹介とともに、岡山のカルチャーシーンを牽引するスペースなども地図上に記していますので、ぜひ、実際に訪れてみてください。「岡山芸術交流オルタナティブマップ」は3部作眼(美術館エリア)/鼻(西川エリア)/口(牽連町エリア)で構成し、ウェブサイトにも連動しています。第1弾=眼で「発見 Discovery」して、第2弾=鼻を利かせてさらに「探求 Quest」し、第3弾=口(口々に)「伝播 Propagation」していただければ幸いです。 ウェブサイト oasamap.jp

【企画監修】 木ノ下智恵子(岡山芸術交流2016パブリックプログラムディレクター/大阪大学COデザインセンター 特任准教授)
【編集・デザイン】 桑田奈美枝(Satellite 代表 ギャラリスト) / 輪原ヨウスケ(COCHAE デザイナー) / 内海慶一(著作家 コピーライター) / 脇英巳(Webデザイナー)

「現代アートを楽しむ場づくり」

1 < 小学校鑑賞支援 > 全10校を鑑賞支援。子供たちや先生と一緒に「現代アート」の楽しい体験できました！



不思議な雰囲気の映像作品。みんな釘づけでした。「これ、顔!」「ゲームの画面みたい」子供の発想柔軟です。

2 < 一般向け「みる＊対話」鑑賞会 > 全3回実施。見ず知らずでも、おしゃべりすると不思議に一体感が。



「なんか変。あっ、鳥居が家の柱になってる!」

触ってもいい作品で。「だまされた〜」の声も。

3 < ハイコーチャレンジ! 「てくてくアート」 > 初めての、街中の作品を巡りながらの鑑賞ツアーです。



まわりをグルグル、近くから遠くからみんなで見つくり見ます。「タコみたい」「宇宙人が乗ってきたのでは?」

「昔から宇宙人はタコじゃからな」「全部にわたしたち、いろいろに映ってる」「ここだけパッと見たら、事件じゃな〜」など、屋外の開放感もあり、和気あいあいとしたおしゃべりは尽きません。